

——「プロが選ぶ」産業用バルブメーカー ハマイ——

ハマイは、大手企業やメーカー様、「業界のプロに選ばれている」産業用／高性能バルブメーカーです

日本のエネルギー供給を担うLPガスバルブから、超高性能を求められる次世代の水素バルブに至るまで、ハマイは日本国内の各種大手メーカーが多数採用。「業界のプロに選ばれている」理由について解説いたします。

実話ですが、30年以上お取引頂いている大手建機メーカー様から、「故障による修理交換のコストを考えた結果、トラブルフリーの実績を考慮してハマイのバルブを採用したい」という、ありがたいお声も頂いています。

**ユーザー様の使用状況に
応じて、柔軟に既製品の
仕様変更やフルオーダー
製造に対応しています**

——ハマイではバルブのオーダー製造が可能と伺っていますが、どこまで対応が可能ですか？

横澤 例えば、ハンドルやボディの材質・形状変更はもちろん、幅広い圧力や温度への対応等、ユーザー様の使用状況に合わせてあらゆる対応が可能です。既製品を大量生産しているバルブメーカー様では、このような細かな対応は困難ですが、ハマイは出来る限り、ユーザー様のご要望にお応えしています。

工場内には開発チームが常駐しており、試作のトライ＆エラーがスピーディーに行えますし、直接ニーズをヒアリングして、すぐに製品化する事も可能です。

**国内の自社工場により
業界最高レベルの
高精度バルブ製造を実現
しています**

——ハマイは、LPガス容器用のバルブで、国内トップ・シェアの地位を築かれていますね。

横澤 はい。私共は1929年の創業以来、約100年に渡り産業用バルブの製造を行っています。現在では、国内の家庭や店舗等で使われるLPガス容器用バルブの40%以上を弊社が供給しています。これに、産業全般で使用されるボールバルブや、半導体製造等に欠かせない高圧バルブ、また次世代エネルギーで使用される水素バルブの開発までを行う総合バルブメーカーとして、あらゆる産業ニーズにお応えしています。

——数あるバルブメーカーの中で、ハマイの優位性はどこにあるのでしょうか？

横澤 まずは、日本国内に所有する自社工場でハイレベルな製品製造を行っている事だと思っています。日本のLPガス機器の安全基準は世界で最も厳格で、ハマイはこの厳しい諸条件に合わせて、性能と安全性を高めて来ました。

**高性能バルブ製造のための
150MPa試験装置や
最新・大型自動複合加工機を
導入しています**

——現在、設備増強にも一層力を入れているようですね。

横澤 はい。ここ数年、集中的に最新鋭の製造装置導入を行い、生産能力を従来比で約30%アップいたしました。

ハマイでは、最大150MPaを誇る国内最大級の昇圧試験装置や、半導体バルブに不可欠な超高洗浄クリーンルーム、ロータリー式の最先端「オートメーション複合加工機」の導入により、最高品質の高圧バルブを製造しています。

**ハマイでは昨今、企業様の
重要課題になっている
安全対策問題に対して
積極的に取組んでいます**

——現在、企業様の重要課題となっている安全対策については、どのような解決策を提供していますか？

横澤 ユーザー様の工場現場では、ハンドル部を取外したり、針金等で固定するケースが良く見られる

のようですが、実際これらの応急対応では事故の発生に繋がり、大変危険な対策です。とは言え、従来のロック機能は簡易的な仕様が多く、取付方向の制限や使用状況により、ロックが外れる等のトラブルが多いのが現状です。

そこで私共ハマイでは、ロック機構とバルブを一体化させた、独自のボールバルブを開発。ハンドル形状のバリエーションを複数ご用意し取付範囲を拡張すると共に、南京錠を加えたより強固なロックを可能にした製品もご用意し、企業様の安全対策に積極的に取り組んでいます。

**ハマイでは、持続可能な
エネルギー社会を目指して、
各企業様との共同開発を
推進しています**

横澤 ハマイでは、水素燃料において、大手自動車メーカーと市販車の共同開発に成功した実績があります。現在、持続可能なエネルギー社会を目指して、様々なメーカー様との共同開発を推進中です。水素エネルギーに関する製品開発をお考えの企業様にも、万全の体制でお応えいたします。

**現在ご使用中のバルブに関するトラブル等、
あらゆるご質問・ご相談にお応えいたします**

ハマイでは、現在ご使用中のバルブに関するトラブル等、お客様のあらゆるご質問・ご相談にお応えいたします。お気軽にご相談下さい。

〒141-8512 東京都品川区西五反田7-7-7 SGスクエア2F
https://www.hamai-net.com TEL: 03-3492-6655（営業本部）



——製品の品質管理についてはいかがでしょうか？

最新鋭の検査設備導入は勿論ですが、「QC検定」取得者を中心とする専任の品質管理エキスパートが、厳格な製品検査を行っています。例えば、水素燃料は通常マインナス40℃の低温で充填されますが、弊社ではマインナス60〜70℃の超低温まで温度テストを行っています。これにより、基準を上回る超高圧・超低温等の環境下においても、流体漏れを起こさないバルブを製造可能にしています。

この様な取組により、不良率0.0001%を実現出来ており、現在ではお客様からのクレームがほぼゼロとなっています。

——製品の品質管理についてはいかがでしょうか？

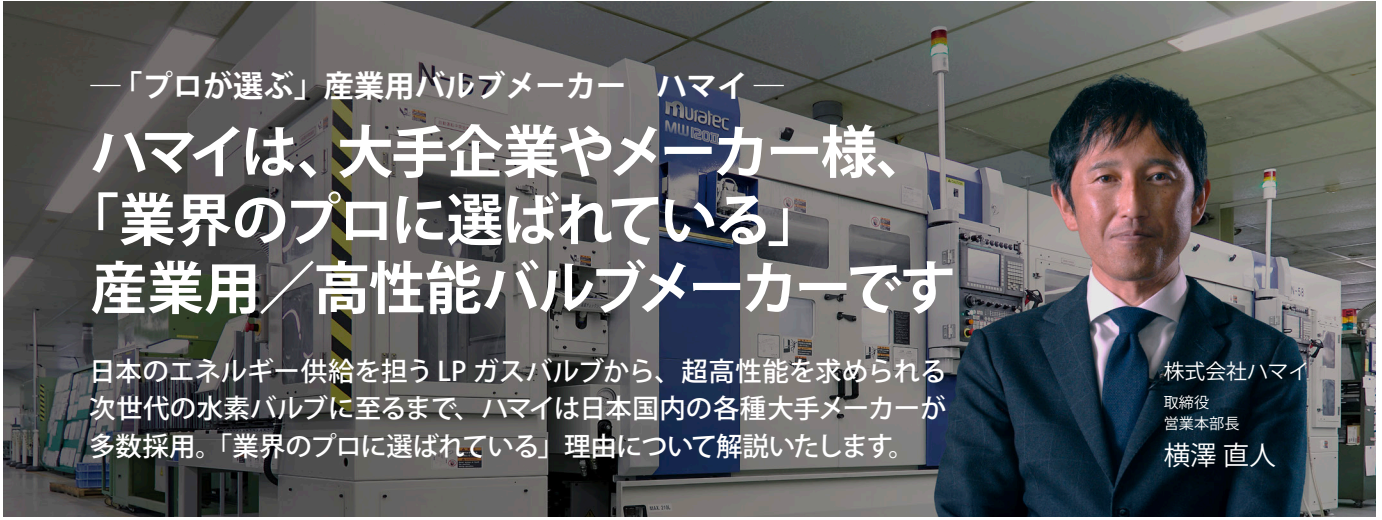
最新鋭の検査設備導入は勿論ですが、「QC検定」取得者を中心とする専任の品質管理エキスパートが、厳格な製品検査を行っています。例えば、水素燃料は通常マインナス40℃の低温で充填されますが、弊社ではマインナス60〜70℃の超低温まで温度テストを行っています。これにより、基準を上回る超高圧・超低温等の環境下においても、流体漏れを起こさないバルブを製造可能にしています。

この様な取組により、不良率0.0001%を実現出来ており、現在ではお客様からのクレームがほぼゼロとなっています。

——製品の品質管理についてはいかがでしょうか？

最新鋭の検査設備導入は勿論ですが、「QC検定」取得者を中心とする専任の品質管理エキスパートが、厳格な製品検査を行っています。例えば、水素燃料は通常マインナス40℃の低温で充填されますが、弊社ではマインナス60〜70℃の超低温まで温度テストを行っています。これにより、基準を上回る超高圧・超低温等の環境下においても、流体漏れを起こさないバルブを製造可能にしています。

この様な取組により、不良率0.0001%を実現出来ており、現在ではお客様からのクレームがほぼゼロとなっています。



株式会社ハマイ
取締役
営業本部長
横澤 直人